

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376100174
事業所名	高齢者グループホーム小原安立

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	自治会に加入、町内行事への参加、自治会定例会への参加など交流し情報収集、交換等している。 地域住民と顔なじみの交流があり、菜園での作物を配ったり、老人会での認知症勉強会を開催している。 子供園の児童や法人内施設の児童等定期的な交流がある。 法人合同行事での地域住民への参加呼びかけなど交流機会の拡大に工夫がある	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	入居者、家族、民生委員、地域包括支援センター等の構成で、意見交換、施設状況報告、運営への提案などが行われ、提案意見の実現を図っている。 ドッグセラピー、健口体操など取組実施等がある。 事業所内の報告、職員の研修状況報告があり、状況の共有が図られている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	豊田市サービス介護向上連絡会に参加、意見交換、情報交換など行い運営向上に役立っている。市の要請での民生委員の施設見学に協力している。 市の介護相談員定期訪問を受け入れ、入居者の、要望、サービス向上に役立っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	意見箱の設置がある。 介護相談員の活用での入居者の意見要望の収集、取り入れを図り、家族へは、アンケート、年4回の季節便り、毎月の「個別のおたより」を発行したり、口頭等での連絡、情報共有を図っている。意見希望は職員間で共有し、配慮している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○				